

## 野川サイクリング道路における舗装損傷の発生原因調査の協力について

令和5年8月～10月にかけて、調布市入間町の野川サイクリング道路（管理者：狛江市）において、外環事業にて実施している掘進完了区間の巡回監視を行った際に、舗装の損傷（大きさ約10cm）を確認し、応急復旧を行いました。当該サイクリング道路の管理者への連絡を怠っておりました。

今般、野川サイクリング道路における舗装の損傷について、狛江市からの協力要請を受け、原因調査へ協力してまいりますのでお知らせいたします。

### ○協力内容：

- 野川サイクリング道路において、東日本高速道路（株）及び中日本高速道路（株）（以下NEXCO）が応急復旧した箇所にて狛江市が行う原因調査のため、路面の開削・復旧作業及び周辺部（谷戸橋～小足立橋）の路面下の空洞調査に協力してまいります。

- ・ NEXCOが応急復旧した箇所にて狛江市が行う原因調査のため、必要となる路面の開削、調査後の復旧作業をNEXCOが行う予定です。

- ・ 応急復旧箇所周辺（谷戸橋～小足立橋）をハンディ型の地中レーダー探査機を用いて路面下の空洞調査を行う予定です。

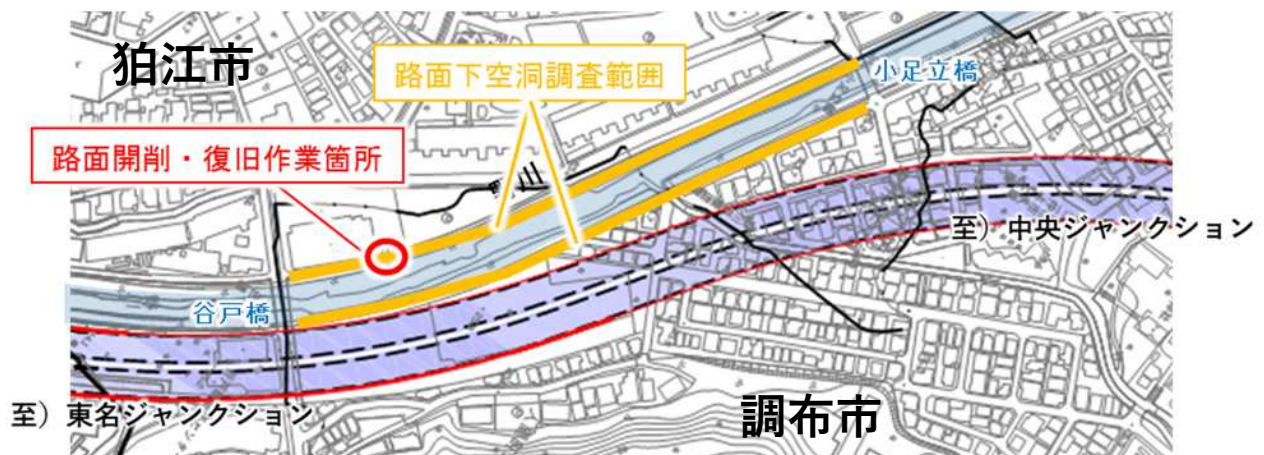


路面下空洞調査  
（ハンディ型地中レーダー）

- 令和5年8月～10月に発生した野川サイクリング道路の舗装損傷について、東京外かく環状道路（関越～東名）の工事による影響の更なる確認を行うことを検討してまいります。

### ○調査日程：令和5年12月以降、準備が整い次第

- 調査にあたっては、サイクリング道路の通行ができない日程がございます。
- 詳細な日程が決まりましたら改めて周辺にお住まいの方々にチラシ等でお知らせいたします。



※野川サイクリング道路の路面下の空洞調査については、野川右岸側を管理する狛江市及び野川左岸側を管理する調布市との調整を踏まえて実施する予定です。